



日本共産党渋谷区議団が、2026年度予算に対する修正案を提案
物価高騰対策・義務教育保護者負担ゼロなど72項目

2月20日の第1回区議会定例会の予算特別委員会に、日本共産党区議団として、議員提案権を活用して2026年度渋谷区予算に対する修正案を提出しました。牛尾区議団長が修正案の説明をおこないました。説明の一部と修正内容の抜粋(下表)をご紹介します。

まず、一般会計予算についてです。

歳出では、(款)議会費、土木費で23億6353万8千円を増額し、総務費、民生費、衛生費、環境費、産業経済費、教育費で43億7184万5千円を増額し、差し引き20億830万7千円を増額します。歳入では(款)使用料及び手数料、国庫支出金、都支出金、寄附金、諸収入で27億2189万5千円を減額し、(款)繰入金を47億3020万2千円増額し、差し引きで歳出と同額の20億830万7千円を増額します。

●主な修正点

●物価高騰対策として、①住民税非課税世帯と均等割のみ世帯への万円の給付金に4億6千万円余、だれも

共産党区議団の予算修正案(抜粋)

2026.2.20

Table with 4 columns: 区分, 事業名, 増額, 減額. Rows include categories like 物価高騰対策/生活支援, 福祉の充実, 子ども家庭部, 義務教育の負担ゼロ/教育の充実, 社会教育の充実, 地球温暖化・環境対策, 商店街支援, 防災対策, 国保料の負担軽減, 大型開発や大企業支援の削除, ムダ遣いの削除, 財源.

が使えるプレミアム商品券に2億2千万円余、物価高騰で減収になった中小企業支援に6億5千万円余、賃

上げた小規模企業支援として1億2千万円余の他、若者、子育て世帯への家賃補助の復活などを予算化しています。●福祉の充実では、廃止した敬老祝い金の復活に1億

6千万円余、後期高齢者医療保険料の値上げ分を支援するために2億8千万円余を計上しています。●教育の充実では、すべての義務教育の子どもの給食費無償化や学用品、修学旅行などの保護者負担ゼロのための予算を